

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年12月 1日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(B)胴側(淡水側)排水弁(P42-F602B)において、点検後の漏えい確認の際に弁シート部からの漏えいが認められたため、当該弁の下流にある集水榭の流入口に閉止栓を実施。	GⅢ	11月28日
2	2号機	換気空調系タービン建屋給気ファン軸受温度記録計(U41-TIS-224)において、データ表示部に「1 Error」の表示が認められたため、当該温度記録計を点検・修理。 なお、「1 Error」は記録計の打点が正常に切り替わらない場合に表示されるものであり、軸受の温度はデータ表示部により確認できることから、監視業務に影響はない。	GⅢ	12月1日
3	2号機	原子炉補機冷却系第2中間ループポンプ出口圧力計(P42-PI-701)において、検出器と当該計器のループ点検の基準値(1.54%)に対して6.34%であることが認められた。検出器単体は精度内であったことから当該計器を点検・修理。 なお、原子炉補機冷却系第2中間ループポンプの出口圧力はプロセス計算機により監視できているため、監視業務に影響はない。	GⅢ	11月28日
4	3・4号廃棄物処理設備	「雑固体廃棄物焼却設備機能検査」の検査前の準備において、雑固体が焼却炉へ投入されず、雑固体投入機の閉止状態を示す緑色の表示灯が点灯していないことが認められたため、検査を中断し原因調査・対策検討。 なお、本件により3号炉第二回定期事業者検査を延長する。	GⅢ	11月30日